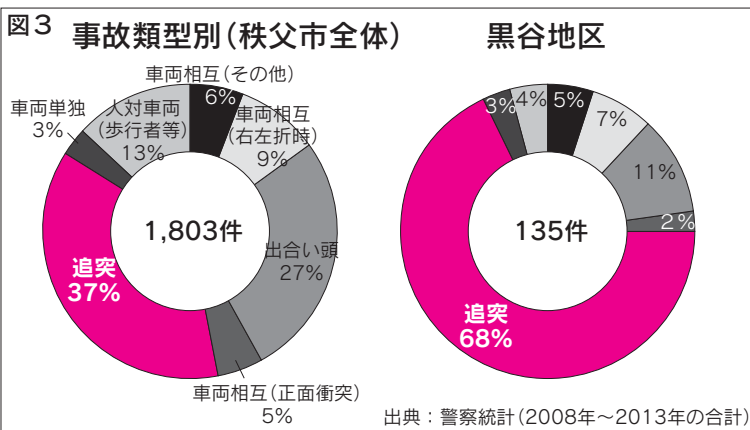
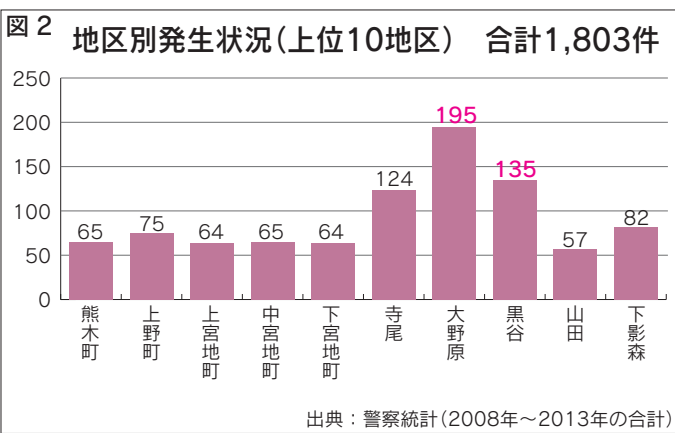
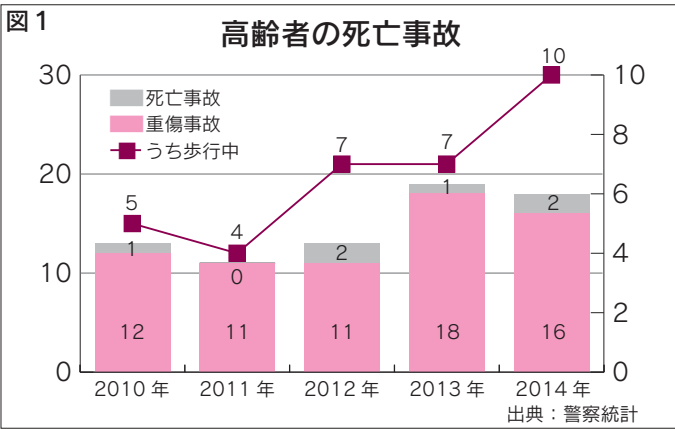


# 交通事故を防ぐ！

秩父市では、世界基準の安心・安全なまちづくりを進めるためセーフコミュニティの国際認証取得に向けた活動を進めています。今回は交通事故に対する具体的な取り組みを紹介します。

交通安全対策委員会では、秩父市の交通事故について警察統計や救急搬送データ等、客観的なデータをもとにして、秩父市における交通事故の発生状況や、発生傾向などを分析しています。  
秩父市内で発生する交通事故の傾向として、

- ① 高齢者の歩行中の重傷事故が多い（図1）
  - ② 若者の自転車乗車中の事故が多い（図2）
  - ③ 特定地区での事故が多い（図2）
  - ④ 追突事故が多い（図3）
- このうち、「高齢者の歩行中の重



傷事故」についてみると、ほとんどが、早朝や夕暮れ時の薄暗い時間帯に発生していました。  
また、「地区別の事故発生状況」をみると、大野原地区、黒谷地区での交通事故が多いことがわかりました。  
さらに、交通事故の類型別発生状況では、「追突」が最も多く、特に、黒谷地区では追突事故の割合が非常に高いことがわかりました（図3）。  
以上のような分析から、対策委員会ではいくつかの取り組みを行っています。

まず、高齢者は早朝、夜間の交通事故が多いことから、交通安全教室などを通じて、反射材を着用するよう重点的に呼びかけています。反射材を着けるだけで、暗闇でも遠くから視認できるようになります。ご自身の命を守るため、反射材を着用していただくようお願いいたします。  
次に事故の発生件数も多く、追突事故の発生が多い大野原・黒谷地区には、「追突注意」の看板を設置したほか、観光客向けには芝桜駐車場に横断幕を設置して注意喚起しました。



大野原に設置された看板

追突事故は、通勤時や買い物の際にも数多く発生しています。運転する際は、車間距離を十分にとつて、追突事故を起こさないようご注意ください。

今後も交通事故の減少に向けて検討を続け、質の高い安心・安全なまちづくりの取り組みを進めていきたいと考えています。

問 危機管理課 ☎22-2206  
市民生活課 ☎25-15200